



大妻女子大学地域連携推進センター

OTSUMA TIMES

NO. 16

2025

大妻タイムズ

千代田キャンパス

秋の花植え活動報告

11月7日(木)、家政学部児童学科の学生と教員・助手、九段幼稚園、九段小学校、三番町町会、(株)プランナーワールド、子育て広場「あい・ぽーと麹町」、千代田区社会福祉協議会と本学地域連携推進センター職員が、千代田キャンパス周辺の三番町町内の「番町学園通り」「大妻通り」に設けられた約100カ所の植樹柵(ます)に、マリーゴールドやノースポールなど色鮮やかな花を植えました。



花植え活動

多摩キャンパス

唐木田清掃・花植え活動報告

多摩校校友会執行部と学生有志らが、12月21日(土)に多摩市立唐木田コミュニケーションセンター「からきだ菖蒲館」の皆さんと一緒に小田急線唐木田駅前の花壇の花植えを行いました。この活動は2018年から毎年行っており、今年度は6月15日(土)、11月16日(土)、12月21日(土)の計3回実施しました。唐木田駅から大学へ戻る際には、通学路の清掃活動も行いました。参加した学生は「唐木田駅を利用する本学学生や地域の皆さんに少しでもその季節のお花を楽しんでいただき、綺麗な通学路を利用していただけると幸いです」とコメントを寄せています。



千代田キャンパス

「KUG」を実施

大妻女子大学千代田キャンパスで2月8日(土)13時から「KUG(帰宅困難者支援施設運営ゲーム)」(注)を実施しました。人間関係学部社会・臨床心理学専攻の学生、教職員、地域の方ら14人が参加。本事業の共同研究者である人間関係学部人間関係学科・堀洋元准教授から事業の趣旨説明のあと、参加者全員が災害備蓄品倉庫へ移動。備蓄品を活用するシーンを想像しながら見学を行いました。また、本学の帰宅困難者受入場所がどこにあるのかなど、実際に歩いて確認しました。KUGでは、本学千代田キャンパスを訪れた際に地震に遭い、帰宅困難者支援施設に任された想定うえで2チームに分かれて実施。本学の「地震対応マニュアル」に沿って、帰宅困難者担当としてそれぞれの役割を分担。帰宅困難者の受け入れ可否や、受け入れ場所の割り振りなどを判断し、避難者からの要望にどのように応えるかといった、さまざまな問題に議論を交わしました。

(注)KUGとは、災害時に帰宅困難者を受け入れる際の運営を図面上でシミュレーションするゲームです。本学は2011(平成23)年12月に千代田区と「大規模災害時における協力体制に関する基本協定」を締結しており、地域住民および帰宅困難者等の被災者への一時的な施設の提供を担います。



多摩キャンパス

「多摩市大学連携マッチングプロジェクト」に参加

大学連携マッチングプロジェクト「児童虐待防止啓発活動」に人間関係学部人間福祉学科・藏野ともみ教授、山本真知子准教授と学生有志が参加しました。これは、多摩市こども家庭支援センターが協働し、市内4カ所の保育所等で学生がロールプレイを通して園児に児童虐待防止教育を行う取り組みです。7月4日(木)に多摩キャンパスで、多摩市子ども家庭支援センター職員の方に来校いただき説明会を開催。同学部の3年生4人、2年生2人は、実際に保育所等での事前打ち合わせを経て、9～11月にかけて各担当施設でのロールプレイを行いました。



令和6年度後期集中授業「地域文化理解Ⅱ」を開講

千代田キャンパス

1月24日(金)、27日(月)～30日(木)の5日間、後期集中授業「地域文化理解Ⅱ」を開講しました。同授業は、世界的に有名なオテル・ドゥ・ミクニのオーナーである三國清三シェフが担当。協定を締結する京都女子大学から2人、本学から31人、合計33人の学生が受講しました。世界や日本、地域社会の多様な食と食文化に関し、国内外の第一線で活躍する食のプロフェッショナルが登壇するとあって、学生らは熱心にメモをとりながら受講していました。



本学の地域連携、地域貢献の活動が評価 千代田区から「地域貢献賞」が授与

本学の地域連携、地域貢献の活動が千代田区に評価され、「令和6年度千代田区温暖化配慮行動計画書制度」において、「地域貢献賞」が授与されました。

これは「千代田区地球温暖化対策条例」に基づき、千代田区内の各事業所が取り組む「環境活動」「環境教育」「地域貢献活動」などの温暖化配慮行動について、他の模範となる優良な取り組みを実施した事業所として区民・有識者において審査、評価されたものです。



(左から)屋敷 和子 地域連携推進センター所長、伊藤 正直 学長、樋口 高顕 千代田区長

<本学教員による地域連携・貢献活動の一例>

- ◆ 代表者: 家政学部児童学科児童教育専攻・厚東芳樹准教授／協力者: 同学科同専攻・石井雅幸教授
「大妻女子大学まちづくりの会」による地域児童への教育支援」(令和6年度大妻女子大学地域連携プロジェクト)
- ◆ 代表者: 社会情報学部情報デザイン専攻・磯山直也専任講師
「子どもと緑が育つ番町・九段のまちづくり提案」(令和6年度大妻女子大学地域連携プロジェクト)
- ◆ 提案者: 社会情報学部環境情報学専攻・木下勇教授
「番九クリスマスマルシェ2024」(令和6年度千代田区プレイスメイキング等の実証実験事業)
- ◆ 代表者: 短期大学部家政科食物栄養専攻・堀口美恵子教授
「環境と食の調和に着目した健康づくりの推進～産官学民連携・中高大連携による取り組み～」(令和6年度大妻女子大学地域連携プロジェクト)
- 「食品ロス削減レシピ」「子ども食堂での食育活動」「ココロとカラダの健康づくり」「『おにぎりアクション』への参加」、「大妻と食アカデミー」「環境学習体験交流会」「鳥取県智頭町の鹿肉を有効活用するレシピ」等「食と環境について考えよう!」(2024年度大妻祭)
- 「食品ロスについて考えよう!」、「エコなリメイクに挑戦してみよう!」(大妻さくら祭り2024)
- 「野菜スタンプエコバッグを作ろう!」「カラフルなうちわを作ろう!」(夏休み小学生講座2024)

<地域連携推進センターの活動の一例>

- ◆ 「夏休み小学生講座2024」 ◆ 「SDGsお譲り交換会」



大妻女子大学地域連携推進センター

OTSUMA TIMES

NO.16
2025

大妻タイムズ

多摩キャンパス

「秋のお茶会」で地域交流

11月12日(火)多摩市愛宕1丁目にあるコミュニティサロン「悠々(ゆうゆう)」において、本学「茶道クラブ多摩校」に所属する人間関係学部人間福祉学科4年生2人と、ボランティア学生2人が「秋のお茶会」を開催し、地域住民の交流促進に役買いました。

これは、多摩市社会福祉協議会に実習に行っていた学生と、多摩市社会福祉協議会の活動に協力する同学科・飛田和樹専任講師に、多摩市社会福祉協議会・地域福祉推進委員会から、地域のご高齢の方の孤立・孤独防止につながる活動として依頼があり、実施されたものです。地域の課題解決に取り組む多摩大学梅澤ゼミの4年生3人も運営に参加し、世代間交流を盛り上げました。

学生は、地域の方のご厚意で提供いただいた和装を着付けていただき、地域の方々にほっとする「ひととき」を、お茶会で提供させていただきました。参加された方々は大学生との交流に笑顔が溢れていました。

参加学生の感想

お茶会に参加できてとても楽しかったですし、貴重な経験になりました。

皆さんの思い入れのある素敵な着物を着付けていただき、お茶を立てる機会もありないと思うのでとてもうれしかったです。貴重な時間でした。



千代田キャンパス

「番九クリスマスマルシェ」を開催

11月23日(土)、千代田キャンパス本館E棟と大学校舎H棟の間の道路を活用し、「番九クリスマスマルシェ」を開催しました。本イベントは、社会情報学部情報デザイン専攻・磯山直也専任講師が取り組む地域連携プロジェクト「子どもと緑が育つ番町・九段のまちづくり提案」、同学部環境情報学専攻・木下勇教授が取り組む「令和6年度千代田区プレイスメイキング等の実証実験事業」の一環として行うもので、道路を遊び場として活用し、木のスプーンづくりができるブース、モーションセンサーを活用した「身体を動かすゲーム」「火起こしゲーム」のほか、「書道部」による書道パフォーマンス、「英国大使館」の太鼓演奏、「エスコートダンス協会」による“みんなで踊ろう”などを実施。終日盛り上がりました。



千代田キャンパス

「大妻地域連携交流会2024」を開催

地域連携推進センターが、大妻祭1日目の10月26日(土)に「大妻地域連携交流会2024」を出展しました。会場の講義室では、子育て世代をターゲットに、自宅で不要になったベビー服・子ども服、おもちゃ、本等を持ち寄り、必要なものがあれば無料で持ち帰ることができる「お譲り交換会」を実施。地域連携活動を紹介する「パネル展示」、本センターの活動を紹介するスライド上映などを行いました。

別会場では、和綴じ本の制作過程を体験する「手帖づくりのワークショップ」を開催。参加者からは「懇切丁寧に手帖づくりを教えていただきました。日本の伝統文化に触れることができ、楽しみながら学びました」との感想をいただきました。



千代田キャンパス

「大妻さくら祭り2025」を開催

3月15日(土)に地域活性化や地域文化の内外への発信を目的に「大妻さくら祭り2025」を開催。1,030名の来場者がさまざまなイベントを楽しみました。体験型のイベントから、一部をピックアップしてご紹介します。

本学教員による講座

1研究所・5学科専攻から8名の教員が登壇し、それぞれの研究分野から12講座を展開。社会情報学部情報デザイン専攻・市村哲教授は、AIについて基本から知りたいという方向けの講座「AIってなに?～使ってみよう、作ってみよう～」を実施。短期大学部家政科食と栄養コース・堀口美恵子教授は、「食と環境の調和」をテーマに「エコクッキングに挑戦しよう!」、染色フェルトの花づくりを通じて、植物由来の天然染料で染める草木染めを体験する「草木染めのお花を咲かせよう!」を実施。大好評でした。



課外活動団体による体験コーナーも充実!

パネルシアター部の「パネルシアター公演」、手話サークルひまわりの「はじめての手話教室」、Hand Madeサークル「belle époque」の「ハンドメイド体験と作品の販売」、バスケットボール部の「知ろう!楽しもう!バスケットボール」、オールチアリーディング・カンパニーLYNXの「みんなで楽しくチアリーディングを体験しよう!」を実施。地域の子どもたちが大学生のお姉さんに教わりながら、課外活動を体験しました。



駐日チュニジア共和国大使館が初出展! 提携団体・関連団体の講座も

本学近隣の駐日チュニジア共和国大使館から「Inspiring Tunisia」(チュニジア共和国を知ろう)が初出展。同国の代表的なお菓子の試食コーナーや、民族衣装を着ての写真撮影ができるコーナーを設け、同国の魅力を伝えました。JALグランドサービスは、毎年大人気でも子どもたちが行列となる「ミニトーイングトラクター搭乗体験」など、JALスカイは、人に良い印象を与える立ち振る舞いや表情、空港で使う簡単な英会話を学ぶ「JAL航空教室～グランドスタッフってどんなお仕事?～」を実施しました。



千代田キャンパス

日常生活からSDGsを学ぼう～お譲り交換会～

● 千代田区キャンパスコンソ各大学による環境問題への取り組みを紹介

3月15日(土)に「日常生活からSDGsを学ぼう～お譲り交換会～」を開催しました。これは、本学が加盟する千代田区キャンパスコンソ各大学(大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部、共立女子大学・共立女子短期大学、東京家政学院大学、二松学舎大学、法政大学、専修大学)のSDGsの取り組みを、小学生から高校生の児童・生徒、その保護者に向けて展示・解説するだけでなく、自宅で不要になったベビー服・子ども服、おもちゃ、本などを持ち寄り、必要なものがあれば無料で持ち帰ることができる環境に配慮したイベントです。持ち帰る服や絵本などを親子で一緒に選んだり、千代田区キャンパスコンソの構成大学の職員から、環境問題の取り組みについて説明を受けたりするなど、身近なSDGsを楽しみながら学びました。

